

リニア時代を迎える飯伊地域の資源（5）

赤石山脈（南アルプス）（2）南信州遠山郷

～ 絶景とは裏腹、厳しい道路事情～

前回（No.478 2019/1）に続き、南アルプスを巡り、各地域をみていく。

1. 南アルプス来訪者は横這いで推移

南アルプス登山にどれ程の人が来ているのか。概況が判る資料としては、長野県の「観光地利用統計調査」（以下「調査」）がある。これにより飯伊地区内の観光ポイントを見ていくと、大鹿村の「南アルプス」と飯田市南信濃の「南アルプス」が目につく。

この2ポイントの推移は、右下グラフ1の通りで、近年では大鹿村の「南アルプス」（以下「大鹿村」）は年間25千人弱、飯田市南信濃の「南アルプス」（以下「南信濃」）は年間5千人弱で推移していることが判る。「南信濃」の平成28年が落ち込んでいるのは、同年9月の豪雨による崩落により、市道南信濃142号線が通行止めになった影響と思われる。

山登りが主目的とみられるこれらポイントに対し、遠山郷での散策その他が主となる観光地の利用者は、登山客をひと桁上回る規模で、しらびそ高原は年間7万人強。下栗の里は、同7万人弱で推移していたが最近と同5万人程度となり、これも前述の道路事情が影響しているとみられる。

2. 観光統計調査の実情

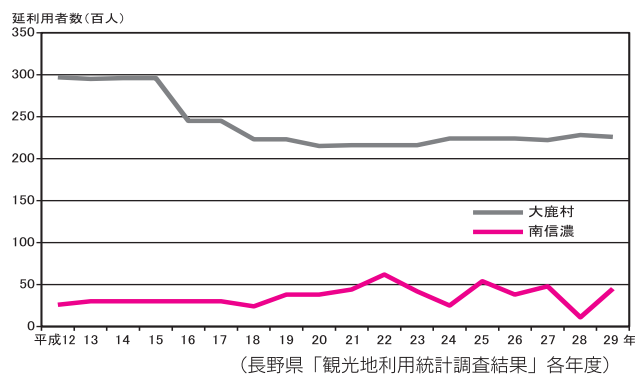
登山口への来訪者データはどのようにして採っているのか。調査を主管している長野県の南信州振興局商業観光課に照会したところ、「実際の測定地の設定とデータ取得・取りまとめは、各市町村が行っている」とのことであった。「南信濃」については、飯田市観光課遠山観光振興係によると、^{いろろど}易老渡と^{たよりがしま}便が島の登山口に光学式で通過者をカウントする機械を設置する。それにより主に^{ひじり}聖岳、^{いろう}易老岳、^{てかり}光岳への登山者がカウントされる。これによると、同じ遠山郷の別の登山口から^{いけぐち}登る池口岳への登山者はカウントされていないことになる。

担当者の村松氏によると、毎年残雪が消える頃、機械を背負って運び上げ設置する。機械は通過者の方向を捉えてカウントするため、入山者と下山者を混同することはない。また「調査」では、「延利用者」つまり「1人が1泊した場合は2人」と捉えるが、登山者については山での滞在日数は考慮できず、通過者数をそのまま計上している。

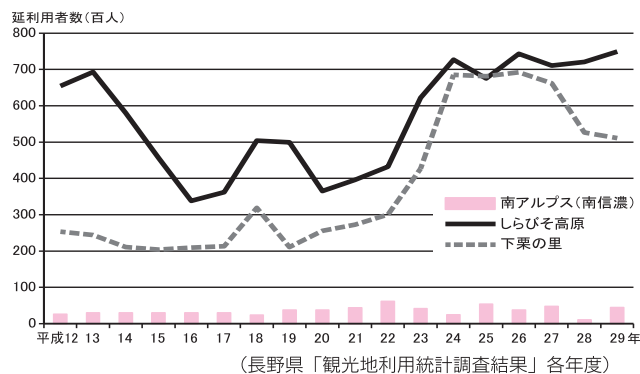


飯田市上村下栗から臨む南アルプスのピーク
左から兎岳、聖岳（百名山）、上河内岳（二百名山）

グラフ1 南アルプスへの来訪数推移



グラフ2 遠山郷の主要観光ポイント来訪数



3. 崩落が多発、生活・観光利用に支障

遠山郷の旧上村を中心にみていく。国道152号線を中心軸として左右に道路が展開しているが、まず梨元から遠山川に沿って行く道路は、以前は柿の島集落辺りまでは行けたそうだが、崩落により梨元から分かれて間もなくの箇所で行き止まりとなっており、登山口へ向かうには、上町もしくは上島から下栗を抜けて行くしかない。遠山川に沿ってはかつての遠山森林鉄道の軌道敷跡が残されており、それなりの幅員はあるが、崩落によって寸断され、隧道が埋まり、橋梁が落下している状況で通行できない。

下栗を経由して行っても、北又渡の先の芝沢ゲートでその先の崩落のため通行止めとなっている。これまで易老渡、便ガ島の登山口まで車で上がることができたが、芝沢から徒歩となるため、往復で数時間のタイムロスとなる。

遠山郷へ入ったのは5月初旬であったが、下栗から御池山クレーターなどを巡ってしらびそ高原へ至る林道も崩落のため半場の先で閉鎖となっている。観光施設の担当者は「国道152号線の大鹿村へ向かう地蔵峠も崩落で通行止めになっていることもあり、杖突峠（茅野市）から遠山郷までを縦断するようなマイカー客やバイクツーリング客が減っている」とのことであった。

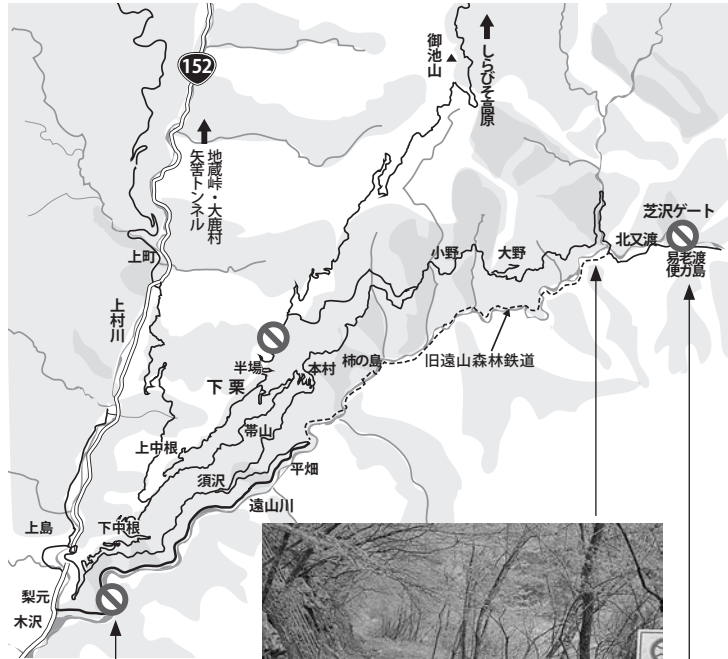
4. 南アルプス利用者増には困難が多い

飯田山岳会の伊藤康徳会長によると「日本百名山の中では、荒川（^わ蕨^{さわ}）岳以南の南アルプス南部全体について言えることだが、聖岳、光岳はいま最も登山し難い（寄り付きが難しい）山のひとつ」という。三遠南信自動車道が全通すれば、リニア長野県駅から遠山郷の入り口までは30分程度で到達するが、その先は…。

遠山郷で、地元の方からの「崩落箇所を早く何とかして欲しいが、その先に人家・集落がないところなので、優先度で復旧までに時間を要することになってしまう。」という話が印象的であった。

遠山郷概略図

(リニア対策課作成)



遠山森林鉄道軌道敷跡



梨元から間もない箇所で行き止まりの市道



芝沢ゲート 崩落のため閉鎖



落石の激しさを物語るガードレール

(飯田信用金庫 地域サポート部 リニア対策課 加藤 修平)